

令和5年度板橋区子ども家庭総合支援センターの運営状況について

1 子ども家庭総合支援センターの相談受付状況

- ・区民からの子どもや子育てに関する相談は支援課(子ども家庭支援センター機能)、関係機関からの児童虐待通告等は援助課(児童相談所機能)が窓口となり相談受理を行っている。
- ・新規相談受付後、支援課・援助課合同で全ケースを緊急受理会議等において、支援的要素・介入的要素を検討のうえ、役割分担を決定している。児童福祉司、児童心理司、弁護士、保健師、一時保護所職員等がケースに応じて連携し、専門的観点を踏まえて決定する援助方針に基づいて支援・援助を実施している。
- ・担当の割り振りについては、東武東上線ブロック・都営三田線ブロックに分けた地区制を導入している。職員が担当する地区を明確にすることで、当該地区の関係機関と顔が見える緊密な関係構築が可能となる。

(1) 子ども家庭総合支援センターにおける相談受付状況(令和5年度)

		支援課	援助課	合 計
		4～12月合計	4～12月合計	
児童虐待相談		94 件	1,068 件	1,162 件
内 訳	身体的虐待	18 件	218 件	236 件
	性的虐待	1 件	4 件	5 件
	ネグレクト	52 件	143 件	195 件
	心理的虐待	23 件	703 件	726 件
養護相談(虐待相談除く)		877 件	198 件	1,075 件
障がい関係相談		16 件	※208 件	224 件
非行相談		10 件	100 件	110 件
育成相談		298 件	41 件	339 件
その他		208 件	75 件	283 件
合 計		1,503 件	1,690 件	3,193 件

※令和5年度の件数は速報値のため修正が入る場合がある

※援助課の「障がい関係相談」は愛の手帳の判定による相談が大半を占める

(2)月ごとの新規一時保護児童数

	総数	内訳		総数のうち 警察からの 身柄付通告※3
		区の一時的保護所※1	一時保護委託※2	
4月	31 件	23 件	8 件	9 件
5月	16 件	14 件	2 件	7 件
6月	33 件	27 件	6 件	8 件
7月	20 件	15 件	5 件	8 件
8月	32 件	19 件	13 件	11 件
9月	24 件	20 件	4 件	5 件
10月	24 件	18 件	6 件	5 件
11月	23 件	17 件	6 件	9 件
12月	13 件	12 件	1 件	5 件
合計	216 件	165 件	51 件	67 件

※1…区の一時的保護所への新規入所児童数（都、他区からの一時保護委託含む）

※2…一時保護所以外に、里親や乳児院、児童養護施設、病院等に一時保護の委託をした児童数

※3…警察が児童相談所による一時保護が必要と判断し、身柄(子ども)とともに通告をするもの

(3)令和5年度の傾向

- ・虐待通告の相談経路として、最も多いのは警察となっており、夫婦間の暴力やケンカを子どもが目撃することによる心理的虐待の割合が高くなっている。
- ・子ども家庭総合支援センターが開設し、板橋区が児童相談所機能を担ったことにより、区内小中学校や保育園からの通告への対応や、区健康福祉センターとの特定妊婦に関する情報共有・対応がより迅速に出来るようになった。また、地理的な近さやアクセスの良さもあり、子ども自ら相談に訪れることが増えた。

2 社会的養護施設等への措置等について

(1)措置児童数

措置児童数(令和5年12月末現在)		203 件
施設等 内訳	児童養護施設	146 件
	乳児院	11 件
	里親(うち、ファミリーホーム)	23(1)件
	児童自立支援施設	5 件
	児童心理治療施設	1 件
	障害児施設入所	13 件
	自立援助ホーム	4 件

(2)里親の認定・登録家庭状況

里親家庭登録数(令和5年12月末現在)		53 家庭
内 訳	養育家庭	28 家庭
	養子縁組里親	22 家庭
	専門養育家庭	2 家庭
	親族里親	1 家庭

※養子縁組里親と養育家庭の二重登録は、それぞれに1件ずつ計上

・フォスタリング機関と連携しながら、里親家庭への包括的な支援や普及啓発活動等を行っているとともに、東京都と児童相談所設置区の里親担当者による定期的な会議等における情報共有等を通じ、広域的な連携と里親制度の普及啓発を図っている。今後も、広域的な連携のもと、里親家庭の新規開拓や里親支援に向けた取組を推進していく。

3 家庭裁判所への申立ケース等について(令和5年12月末現在)

28 条	申立件数	1 件
	承認件数	0 件
	更新件数	0 件
33 条	申立件数	4 件
	承認件数	0 件
	更新件数	0 件
立入調査件数		0 件
親権停止件数		0 件

※28条…施設等への入所措置

※33条…2か月以上の親権者等の意に反する一時保護

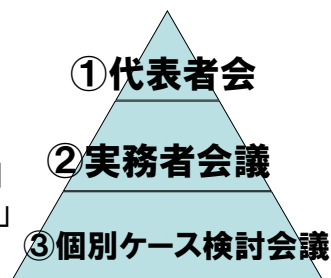
4 要保護児童対策地域協議会について

○要保護児童対策地域協議会の機能拡充を図るため、支援課地域連携推進係を中心に個人情報保護のもと、要保護児童等に関する情報共有及び支援内容について、三層構造からなる会議体で協議を実施した(右図参照)。

○代表者会議については年間2回実施し、要保護児童対策地域協議会の運用に関する決定や、協議会の活動報告等を実施した。実務者会議については、「集合型」の会議を中学校地区ごとに前期・後期の2回実施するとともに、関係機関を訪問する「アウトリーチ」を年間通じて実施し、ケース児童の情報共有を図った。

個別ケース検討会議については、各ケースワーカーがケース児童の状況に応じ適宜実施した。

特に、「集合型」の会議と訪問型の「アウトリーチ」を交互に実施する実務者会議を中心に、年間を通じケース児童の見守り体制の構築をするとともに、全関係機関と3か月に一度の情報共有を実施した。



① アウトリーチ(関係機関訪問)概要

学校、保育園などの関係機関へ訪問し、所属の支援対象児童について、直近の状況をヒアリングするとともに、所属に潜在している被虐待児童等の掘り起こしを行った。また、子ども家庭総合支援センター開設に伴い刷新した「板橋区子ども家庭支援指針(板橋区児童虐待防止対応ガイドライン)」について周知・啓発し、児童虐待等の初動対応の流れ等の共有を行った。

② 対象施設

令和5年度については、関係機関の拡充として、小規模保育園を追加したことで、既存機関を含む約370機関との情報共有を図ることができた。

会議名	回数	開催月
代表者会議	2回	第1回:6月28日(水) 第2回:2月6日(火)
実務者会議	前期22回・後期22回 (中学校区ごとで実施)	前期 7月～9月(実施済) 後期 1月～3月(実施中)
関係機関訪問(アウトリーチ)	各関係機関へ訪問し情報共有 (約370機関)	前期 4月～7月 後期 10月～12月
個別ケース検討会議	60回 (支援課19回 援助課41回) ※1月末時点	年間通じて実施

5 子どもの権利擁護の取組みについて(令和5年12月末現在)

(1)子どもの意見表明支援(子どもアドボケイト)

・ 概要

行政機関から一定の独立性を持ち、児童の立場に立って、子どもの意見表明を支援する。一般社団法人「子どもの声からはじめよう」と覚書を締結し、子どもアドボケイトの派遣を受けて事業を実施する。

・ 主な業務内容

①定期訪問アドボカシー

原則として、隔週土曜日の午前11時から午後3時に、子どもアドボケイトが一時保護所を訪問し、入所中の児童の意見を聴取するとともに、児童の生活等に関して、権利擁護及び福祉サービスの向上の視点から、一時保護所に対して提案を行う。

②個別訪問アドボカシー

児童相談所の支援に関わる全ての児童を対象に、意見を表明したい旨の申出があった際に、区の指示を受けて、子どもアドボケイトが施設等に訪問し、児童の意見を聴取する。

・ 令和5年度活動実績

①定期訪問アドボカシー(19回実施)

実施日	アドボケイト 参加人数	意見表明 件数	その他面談 件数	備考
4月1日	5人	2件	3件	
4月15日	6人	5件	3件	
4月29日	7人	0件	6件	

5月6日	5人	4件	6件	
5月27日	7人	0件	5件	
6月10日	7人	3件	0件	
6月17日	7人	5件	3件	
7月8日	7人	2件	4件	
7月22日	8人	5件	3件	
8月5日	7人	0件	4件	
8月19日	6人	1件	3件	
9月2日	—	—	—	一時保護所内でコロナ感染者多数発生のため中止
9月16日	7人	1件	3件	
9月30日	5人	0件	2件	
10月14日	6人	0件	4件	
10月21日	6人	0件	7件	
11月11日	7人	1件	3件	
12月2日	8人	2件	7件	
12月9日	5人	1件	4件	
12月16日	6人	0件	5件	
合計	122人	32件	75件	

②個別訪問アドボカシー:0回

(2)被措置児童等虐待の調査(子どもの権利擁護調査員)

・ 概要

被措置児童等虐待が発生した場合等、第三者の公正中立な立場から関係機関の調査を行い、児童福祉審議会に報告を行う。板橋法曹会から弁護士1名、東京社会福祉士会から社会福祉士1名の推薦を受けて事業を実施する。

・ 主な業務内容

被措置児童等虐待が発生した場合等、区の指示を受けて、子どもの権利擁護調査員が、区職員とともに児童福祉施設等に訪問し、児童・職員への聴き取り等の調査を実施する。

・ 令和5年度活動実績

0回